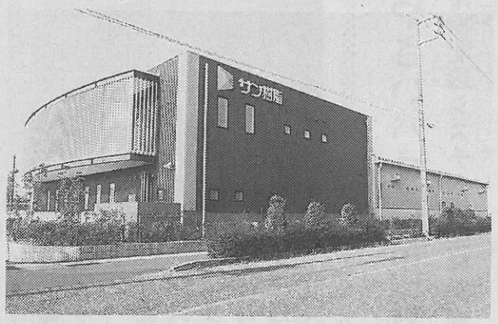
（第三種郵便物認可）

北名古屋市に本社・工場移転

サン樹脂

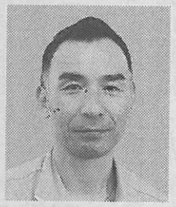
航空機、医療機器関連を拡充

工業用プラスチックの切切削加工を手がけるサン樹脂（本社北名古屋市六ツ師大島、磯村太郎社長、電話0568・27・3014）はこのほど、小牧市内から本社・工場を移転した。生産能力増強が狙い。成長が見込まれる航空機、医療機器関連などで需要を開拓。2021年2月期の売上高を前期比30・6％増の7億円に高める。（北名古屋・柴田芳尚）



5月に移転した新本社・工場

同社は半導体装置、自動車、電機関連のプラスチック部品を中心に切削加工を手がけている。17年2月期の売上高は約5億3600万円。



磯村太郎社長

旧本社・工場は手狭になっていたことに加え、2棟に分散していた。業務の効率化と新分野を拡充するために、移転を決めた。

新本社・工場の敷地面積は3643平方㍍。2階建て本社事務所（延べ床面積802平方㍍）と平屋建て工場（887平方㍍）を建設。延べ床面積は約2・6倍に拡大した。投資額は約5億6千万円。

新工場には、複雑な加工に対応する5軸加工機をはじめ、約5千万円をかけて新設備を導入。さらに、工程の一元化で機能強化と効率化を図った。今後は成長市場の航空機や医療機器関連、受注が伸びている治具設計に力を入れる。

21年2月期には治具設計を5倍増、航空機や医療機器関連分野を倍増させる計画だ。21年2月期までに社員を50人（現在37人）に増員し、工場増設を検討する。

本社移転を機に従来の「サン樹脂加工」から社名を変更した。

磯村社長は「プラスチックに加え、CFRP（炭素繊維強化プラスチック）やゴム弾性を持つエストラマーなど、樹脂全般の切削加工に対応していく」と話している。

共同でイクボス宣言

犬山市と会議所、企業に拡大へ

宣言書に署名した出席者（前列左から4人目が山田市長、5人目が日比野会頭）

【犬山】犬山市と犬山商工会議所は共同でこのほど、同市役所で「イクボス宣言」を行った。ワークライフバランス（仕事と生活の両立）に理解ある市管理職の育成と、市内企業への拡大が目的。市からは山田拓郎市長はじめ48人、同会議所からは日比野良太郎会頭はじめ9人が出席し、宣言書に署名した。

市では、仕事と子育てや介護など私生活が両立できる職場環境の改善や、部課長級以上の養成に力を入れている。また、働く人の健康づくりや地域活動などの関わりに支援する環境を整えるため「犬山アクションプラン」を策定。市内企業でも取り組みを促進させようと、同会議所と共同でイクボス宣言を行った。

6月1日から市のホームページで市内の事業所向けにPRを展開する。賛同した経営者、管理職は「イクボス企業」として紹介する。今後は同会議所とともに、イクボスの取り組みを進める市内企業に研修講師の派遣などを支援していく方針。

宣言書に署名した山田市長は「官民連携して宣言することに意義がある。生産性の高い、いい仕事につなげていくために働く人たちの職場環境を作っていくことは大事。経営者、管理職に働きやすい職場づくりの意識を高めていく」と強調した。

また、日比野会頭は「日本でも子どもは国の宝という意識を持って環境づくりを行うことが重要。市内各企業にイクボス宣言を十分に理解してもらいながら進めていきたい」と話していた。

自社のPR方法伝授

津島会議所　創業支援講座スタート

「自社は他社とどう違うのか言語化できることが重要」と語る小坂氏

【津島】津島商工会議所はこのほど、全6回の創業支援講座「創業PLUS（プラス）」の第1回講座を開催した。毎回異なるテーマを設け、2017年2月まで隔月で行う。創業して間もない経営者や創業希望者ら約20人が参加した。

初回は、起業経営研究所社長の小坂英雄氏が講師を務め、自社のPR方法や経営に必要なアイデアの出し方などを伝授した。小坂氏は「自社の特徴を言語化できなければ、口コミで広げてもらえない。他社にはない強みを一言で表現できれば、各種補助金を申請する際にも役立つ」と語った。講座の後は懇親会を開き、参加者同士で親交を深めた。

次回は7月27日に開催する。みやこ内科クリニック（春日井市）の石黒良佑事務局長を招き、創業時の体験談を語る。

問い合わせは同会議所（電話0567・28・2800）まで。

駐車場不足をチャンスに

常滑会議所が通常議員総会

あいさつする牧野会頭

【常滑】常滑商工会議所は31日、同会議所で第88回通常議員総会を開いた。2016年度の事業報告と同年度の収支決算を承認した。

冒頭、牧野克則会頭が、財政改善に向けた会費の値上げについて「安定した会議所運営のため、痛みを伴う重要な改革」と会員に理解と協力を求めた。

一方、中部国際空港で新たな商業施設を建設することに伴い駐車場が不足する問題に触れ「市内の駐車場を活用する人が増え、地域活性化につながる。これをビジネスチャンスと捉え、総合的で効果的なまちづくりを進める」と語った。

また青年部は、ことし7月にイオンモール常滑に開業する「イオンシネマ常滑」の施設内に、市民が制作したタイルアートを設置すると報告した。

連携事業を支援へ

大府会議所も通常総会

【大府】大府商工会議所は31日、同会議所で第31回通常議員総会を開き、2016年度の事業報告と収支決算を承認した。

木村勝昭会頭はあいさつで「商工業活性化ビジョンの第3期短期行動計画の初年度として、八つの重点事業を柱に事業を推進してきた」と振り返った。

また産学官連携交流会を今回で終了し、今後は事業者の技術的課題解決のための連携事業を支援していく方針を掲げた。その上で「地域経済の活性化と大府の特性を生かし、魅力ある地域づくりのための事業を展開する」と語った。

同会議所は終了年度の事業を独自に評価しており、16年度の事業評価を公表した。16年度に行った71事業のうち、目標を上回って達成できた事業とほぼ達成できた事業は、全体の51％に当たる36事業と報告した。

大府会議所の総会の様子

来月12日に開業

イオンシネマ常滑

【常滑】イオンモールは31日、イオンモール常滑（常滑市りんくう町）に開業準備を進めているシネコン「イオンシネマ常滑」を、7月12日に開業すると発表した。

店舗など商業施設などが入る本棟に併設したシネマ棟に、九つのスクリーンと約1100席を設ける。

映画のスクリーンと遊具施設を組み合わせた、国内初の遊べる映画館「キッズ向けシアター」も設ける。滑り台「ビックウェイブスライダー」をはじめ、靴を履いたまま遊べるトランポリン遊具「ジャンピングボム」を備えたプレイエリアを併設する。

本棟とシネマ棟を結ぶ通路には、常滑商工会議所青年部が企画し常滑焼やタイル、招き猫、空と海などを表現したモザイクアートを設置する。

当日はセレモニーと内覧会を行い、午後から一般来場者が入館できる予定。

尾張・知多

●尾張支社
一宮市栄
2―14―29
アスティ一宮
北館102号
電話
0586（72）5003
FAX
0586（72）6823

●尾東支局
春日井市上条町
1―215
原ビル4階
電話
0568（41）9950
FAX
0568（41）9951

●半田支局
半田市泉町1―4
新美ビル4階
電話
0569（24）6320
FAX
0569（24）6367

列島・北から南から